

# 糖尿病克服に向けた先進的臨床研究

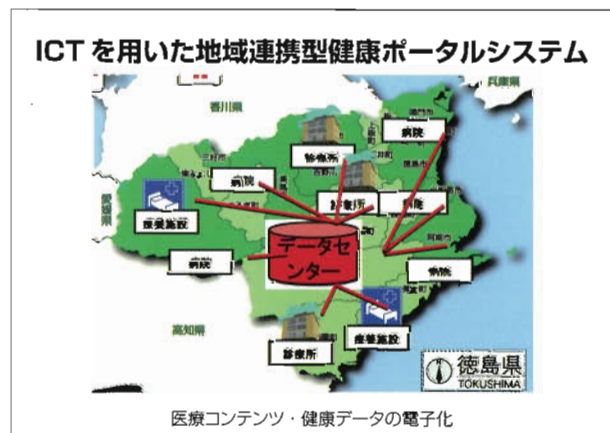
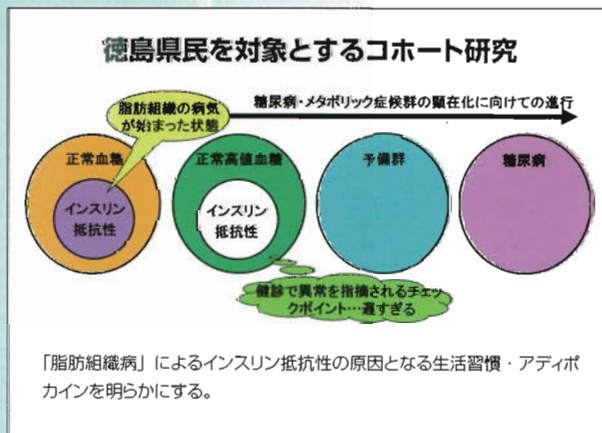


研究代表者 徳島大学 糖尿病対策センター  
センター長・教授 船木 真理

## 1. 研究の背景と目的

肥満で病的な状態となった脂肪組織から血中に分泌されるアディポカインは、インスリン抵抗性を誘発し、糖尿病を引き起こします。高い糖尿病死亡率が続く徳島県は全国でも有数の肥満県でもあります。県民対象の調査で、血糖値は正常ながらインスリン抵抗性を示す例が多数見られました。そこでインスリン抵抗性に寄与する生活習慣とアディポカインを明らかにすることを目指します。また ICT を活用し、医師会・病院などと連携した双方向に医療情報が交換できる個人用の健康ポータルを利用した糖尿病診療のネットワークを構築して未治療・治療中断を防ぐことを目指しています。

## 2. 研究内容



## 3. 事業化への展望

インスリン抵抗性発生の原因となるアディポカインを健診で測定することにより、血糖値測定では発見できない「脂肪組織病」によるインスリン抵抗性の発生を検出することが可能となります。またアディポカインの作用制御物質の探索により、生活習慣の改善に依存せずに有効性を示すインスリン抵抗性の治療薬の開発が可能となります。以上により糖尿病・メタボリック症候群の発生を根底より防ぐことが可能となります。

ICTシステム内に広告モデルを利用します。また、ICTを用いた個人の栄養・運動を有料で管理・増進するシステムを構築します。徳島地域のみならず、全国規模への波及も期待できます。